

快挙!!電験三種合格
電気技術学習奨励賞受賞



中西信貴さんと高橋会長

38

萌芽会報

第38号 令和5年5月1日萌芽会 編集部 発行

機電と共に、

あなたと共に。





萌芽会会員の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。平素より浪速工業会並びに萌芽会に絶大なるご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。萌芽会会長を拝命し一年が経過の中、機械電気科62期生49名の皆様が「大阪府立」として初年度、天下の都工をご卒業されました。誠にめでとうございます！皆様におかれましては、令和2年4月のご入学から令和5年3月のご卒業迄の貴重な3年間をコロナ禍の制約の中において学業生活を立派に果たされた事「流石の感一杯」です。これもひとえに、ご指導頂いた先生方及び皆様方同窓生との強い絆の賜物です。就職・進学で社会に羽ばたかれますが、是非とも強い絆を大切に！天下の都工生として誇りを持ち邁進され大きく飛躍される事を祈念申し上げます。



新たな都工らしさを継承し且つ持続しましょう！

さて我が母校も115年の伝統を基盤に大阪府立として大西学校長の下、教職員含む関係各位の皆様がまず令和4年度・学校経営計画書に基づき、「新たな都工らしさ」をこの初年度の教育を実践され、以降も天下の都工を継承される事に深く感謝申し上げます。私共も微力ながらその一念を持ち邁進する所存であります。故、今後共よろしくご指導頂きますようお願い申し上げます。

令和5年度萌芽会総会・懇親会の開催を、会報の最終裏面にご案内申し上げます。当会も3500名超えの会員登録において、若手役員を中核に「機電と共に、あなたと共に。」を持ち、時代の変革に対応し推し進めています。会員の皆様・新会員の皆様！是非とも同窓生と共に参加頂きますよう宜しくお願い致します。浪速工業会・萌芽会会費納付及び会報誌広告応募にご協力頂きました会員の皆様には深くお礼申し上げます。結びに、萌芽会会員の皆様方の益々のご活躍とご健勝をお祈りしご挨拶とさせていただきます。

萌芽会 会長 高橋良司

ME3a 植原響

私の都工での時間は、とても恵まれたものだったと感じています。それは、多くの人と出会い、多くのチャンスを与えてくれたからです。3年間で、レスコン、応援団、三輪車レースなど多くのものに挑戦しました。その中でもっとも強く感じたことは、人との縁です。私が現在も新しいことに挑戦し続けられているのは、そのおかげといっても過言ではありません。新しいことに挑戦を続けているということ、はつまり、常に成長しているということですので。そこで、機電の後輩達にも、与えられたチャンスを逃さずに、意義のある学校生活にしてほしいと思います。私は、様々なことに参加した分、多くの後悔が残っています。ですが、後悔できるといふことは、まだまだ成長できると私は思っています。

私自身も、何度も反省を繰り返すことで、次につなげてきました。その中でも、様々な苦難があり、諦めようと思う時がありました。それでも頑張ったからこそ、多くのものを得られたと思います。この3年間は正直、周りに追いつきたいという思いでいっぱいでした。私は、入学時ではさしがねもわからないほどの知識ありませんでした。ですが、私の目標でもあり、ともに歩んでくれる仲間のおかげで、今の私があります。本当にありがとうございます。最後にありますが、先生方へ、この3年間、本当にお世話になりました。私たちが笑顔で卒業できるのも、支えて下さった先生方のおかげです。本当にありがとうございます。

卒業生の言葉



科長挨拶

萌芽会々員の皆様におかれましては益々ご健勝、ご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。

また萌芽会の皆様には日頃から機械電気科に様々なご支援やご声援をいただき、誠にありがとうございます。昨年度はコロナ禍3年目で、「大阪府立」としてのスタートとなり、5月の校外学習をはじめ例年の行事がほぼ完全に実施することができました。萌芽会様からはレスキューロボットのテスト、体育祭・文化祭の都工祭への支援、ジュニアマイスター顕彰者の記念品に加え、新たに参加しました外部レースへの支援や資格講習用テキストの購入費など多大なご協力をいただき、大変ありがたく感謝申し上げます。

それでは令和4年度のご報告をさせていただきます。昨年のレスキューロボットコンテストは残念ながら本選出場はできませんでしたが、主催者側から子どもたちが機体を体験できる実演デモの依頼があり協力をしました。また外部のレースとしては4時間耐久三輪車レース(9月)とレッドブルレース(10月)に参加しました。



機械電気科 科長 鈴木 宏一

レースの様子は本校HP(サイト内検索で「機械電気科」と入力)にも挙げておりますので是非ともご覧ください。

三年振りに開催された体育祭の成績は、残念ながら総合順位で最下位となりましたが、3年生を含め全員が初めての体育祭を楽しんでくれました。今年よりベンジを期待したいと思います。今年の体育祭は10月7日(土)、文化祭が11月1日(土)と12日(日)に開催を予定しております。是非母校においていただき、在校生の活躍をご覧いただきたいと思っております。

また昨年度より授業におけるICT機器の活用が大幅に進み、生徒一人一台端末としてchromebookが貸与されました。これによりデジタル教材の利用や先生と生徒間双方向の授業展開ができるなどきめ細かい授業をおこなうことができるようになりました。それに加え今年から電子黒板が全定教室に設置され、授業におけるさらなるIT化が進んでいます。

続いて科の近況報告をいたします。昨年度は11名の卒業生がジュニアマイスター顕彰を受賞しました。内訳はゴールド特別表彰3名、ゴールド3名、シルバー5名でした。萌芽会より記念品をいただきありがとうございます。卒業生49名については全員進路先が決定し、3月1日に卒業式を終え立派に巣立っていきましました。また昨年度の嬉しいニュースとして、おそらく機械電気科始まって以来の「第三種電気主任技術者」の合格者を出すことができ、電気電子工学科2名と合わせて3名となり「全国高校生合格者ランキング一位」を獲得しました。現3年生においても科目合格している生徒がおり合格に向けて頑張っています。

今春の入学生より機械・機械電気科は1クラス減の2クラスでスタートし、後期からの機械電気科1年生も1クラスとなります。少し寂しくはありますが、希望を抱いて入学してくる生徒の成長や、進路選択の助けになるよう教員一同努力して参りたいと思っております。

最後になりましたが、萌芽会々員の皆様のご健勝とご発展を心からお祈りいたしますとともに、引き続き機械電気科の教育活動へのご支援とご厚情をお願い申しあげましてご挨拶とさせていただきます。

卒業生の言葉

ME3b 宮野 勇真



僕は3年間を通して部活動と学校生活の両立に力を入れました。やはり両立はどちらにも欠けてはならないので、欠けないためにもどういった工夫をしたらいいのかまたその工夫が自分の今後にどう生かされるのかも考えながら日々文武両道に取り組みました。まず、文では、普通科目はもちろん、工業科目にも力を入れ、ほかの生徒に負けないよう自宅でも勉強したり周りを見えないところで努力しました。特別頭が良くなって1位ばかり取れたとかさういったものではないけれども、ごくごく普通の頭脳を持つことが出来たかなと思っております。かといって悪くなることも無くどちらかと言えば時期を重ねるにつれ、だんだん成長を自分でも感じることができるようになりました。

次に武の方では剣道部として礼儀作法を重んじ、相手を尊重して稽古に日々取り組みることができ、試合でもいろいろな私立の高校とほぼ互角に戦うことができたので精神的にも肉体的にも成長できたと思います。在校生の皆さんはこれからまだまだ辛いことが多いと思いますが、めげずに頑張ってください！

機械電気科 職員一覧

令和 4 年度 機械電気科職員



【後列左より】高山 大亮、木邨 海奈斗、曾我 舜介、山口 和宏、伊原 登、後藤 達生
 【前列左より】鎌本 有紀子、前川 雄貴、山田 恵美、鈴木 宏一、西村 嘉人、藤澤 智、三好 聖治
 (敬称略)

今年度の異動で、山口和宏先生が大阪府立布施工科高校へ転出されました。先生には平成 22 年度より 13 年間にわたり担任 3 回 (9 年)、機電科長 2 年、進路指導課長 2 年と大変ご尽力いただき感謝申し上げます。新天地布施工科高校でのご活躍を期待しております。

令和 5 年度機械電気科は、次の職員で生徒指導にあたります

- | | |
|------------------------|------------|
| 機械電気科科长 | 鈴木 宏一 |
| 三年 a 組担任 | 前川 雄貴 |
| 三年 b 組担任 | 藤澤 智 |
| 二年 a 組担任 | 鎌本 有紀子(美術) |
| 二年 b 組担任 | 三好 聖治 |
| MME | |
| (一年のみ前期は機械・機械電気群で共通履修) | |
| 一年二組担任 | 高山 大亮 |
| 生活指導係 | 曾我 舜介 |
| 進路指導課(出向) | 西村 嘉人 |
| 生活指導課(出向) | 後藤 達生 |
| 教務課(出向) | 木邨 海奈斗 |
| 非常勤講師 | 伊原 登 |
| | (敬称略) |



本年卒業生の就職・進学先一覧

企業名	
近畿車輛株式会社	中西金属工業株式会社
株式会社クボタ	南海電鉄株式会社
コクヨ株式会社	日清オイリオグループ株式会社
株式会社小松製作所大阪工場	日本貨物鉄道株式会社関西支社（JR 貨物）
株式会社サクラクレパス	パナソニック株式会社門真
株式会社資生堂大阪工場	パナソニックエナジー株式会社守口（2名）
株式会社島津製作所	パナソニックテクノサービス株式会社
住友化学株式会社大阪工場	阪神電気鉄道株式会社
独立行政法人造幣局	株式会社 Mizkan 大阪工場
田岡化学工業株式会社	三菱マテリアル株式会社三宝製作所
タカラスタンダード株式会社大阪工場	株式会社都島製作所
帝国チャック株式会社	山崎製パン株式会社
トーテックアメニティ株式会社	株式会社リガク
株式会社トパック	

学校名	学科名
大阪工業大学	ロボット工学科（3名）
	システムデザイン工学科
	ネットワークデザイン工学部
大阪産業大学	電子情報通信工学科
	機械工学科
長岡技術科学大学	電気電子情報工学科
大阪電気通信大学	情報工学科
大阪国際工科専門職大学	デジタルエンタテインメント学科（2名）
嵯峨美術短期大学	デザイン学科 グラフィックデザイン領域
産業技術短期大学	情報処理工学科
大阪公立大高専	機械システムコース（2名）
津山工業高等専門学校	電気電子システム系
大阪ハイテクノロジー専門学校	臨床工学技士科
バンタンゲームアカデミー	ゲームグラフィック総合
大阪観光専門学校	鉄道サービス学科

新卒業生インタビューPart.1

南丹サンサン祭2022



南丹市園部公園において、南丹サンサン祭 2022「4 時間耐久三輪車レース」が行われ、機械電気科はチーム名「都工魂」として出場しました。このイベントに参加された植原さんと大角さんにお話を聞いてきました。

レースについて教えてください

(植原) 京都の「南丹サンサン祭」という 4 時間耐久レースがあって、1 台の三輪車を自分たちで制作して、それを競技メンバー 4 人で、4 時間のあいだ順番に漕ぎ続ける競技です。

二人の役割は？

(植原) 僕は監督っていうリーダー的役割で、漕いではないんですけど、主に制作をしていました。溶接したりして、三輪車作るほうです。

(大角) 僕は選手として出ました。ゼッケン 19 番です。京都新聞にも載って、都工のホームページにも。(結果は 19 チーム中 16 位でした。)

三輪車の制作について

(植原) 色を機電カラーにしたのはこだわりです。元々はピンク色の子供用の自転車だったんですよ。それをバラして切って、一輪車のタイヤを前輪につけて、後ろにちっちゃいタイヤを 2 つ、溶接して取り付けました。制作期間は 1~2 カ月くらいで、放課後残って制作してました。

レース当日はどうだった？

(大角) 当日雨やったんでスタートからちょっとしんどかったです。それとやっぱり 4 時間っていうのは長いんで、足が途中で何回かつって、氷巻いたりしながら激痛の中走ってました。練習は放課後に公園残ったりして、漕いでやってました。



雨に打たれて激闘の 4 時間耐久三輪車レース



植原さん、大角さん

参加して良かったところは？

(植原) 機電の実習だと、機械的なことメインでやるってあんまりないので、溶接とかできたのは強みになったと思います。「半自動溶接機」でやったんですけど、実習では使ったことなく、初めてやる溶接だったんで難しくて…でもこういうのもあるんやって。いい経験になりました。

(大角) やっぱり自分たちが作ったものに乗って、それで戦うっていう工業高校ならではのところはいい経験ができたなと思います。

次の大会にも参加するの？

(植原) 学校とは別で友達を集めて、参加しよかなって思ってます。今度は打倒都工で！自費になりますね(笑)



チーム「都工魂」

新卒業生インタビューPart.2

熱いぜ！今年度の応援団も！



体育祭は3年ぶりとなる開催で、全校生徒が初めての体験でした。団長の鳥越さんを筆頭に、山崎さん、植原さん、関さん、そして総副団長を務めた井上(凜)さんたち応援団の皆さんにお話を聞いてきました。

応援団の活動はどうだった？

—コロナ禍での応援披露のお話

(鳥越)文化祭でやってたくらいで、体育祭は初めてでしたね。文化祭では去年も一昨年もやってました。朝礼の開会のときに多少短縮してやるくらいです。

(植原)応援練習期間っていうのはありまして、そこでミッチリ、先輩から後輩へ受け継ぐことはしっかりとしました。

応援団の面白かったところ

(山崎)今年、僕らの代だけのオリジナルの型みたいなを作ったんですよ。三三七拍子で自分たちで振り付けから作って。

(鳥越)それ楽しかったですね。基本毎年1個は自分らで作ってるらしくて、コロナ禍で2年間くらい作ってなかったけど、鈴木先生が作ってみよかって言うてくれて。

(山崎)原型みたいなを大角と関が考えてくれて、そこから「ここちよっとへんちゃう？」とか言いながら調整して完成した感じですね。

(鳥越)やっていくうちに、ここちよっと変えたほうがええんちゃうかな？っていうのを自分らで見つけて、ああいう感じの型になりました。

(関)僕は3年から入ったんですけど、声出すのに慣れてて、楽しかったです。

(井上)こんな機会、中学校にはなかったもので、しかもこんな本気な

最初で最後の体育祭応援披露

応援団と違って初めてみて、色んな新しいことばかりで、厳しいこともたくさんありましたけど、すごい楽しかったと思います。

応援団で大変やったことは？

(鳥越)教えることですかね。はじめ1年生に教えるのも難しかったですけど、2年生もあんまり来てない子がいたりして、来てない中で教えるっていうのは苦労しましたね。

応援団は全員が団結しないとダメなんで。いないところは誰かが補って、来たときはその日に遅くまで教えて最終的に作り上げた感じですかね。

(関)大変やったのは、体育祭の本番の時、学ラン着てて暑かった。

(井上)コロナ禍もあって、1年生2年生の時に本物を見たことがなくて、先輩方からその熱意とかは伝わってくるんですけど、それを下に伝えられないというか、その熱意を伝えるのが難しかったなと思います。

女子団員の活躍がすごい

(井上)今年は総副団長の番がたまたま機電だったので、誰がやりたい？ってなったときに自分か、植原かっていう話が上がってきて、自分がやりたいですって手を上げました。

(鳥越)次(の三年生)も女子です。(井上)ちなみに今の1年生にも女子が2人居て応援団入ってるんで

まだ団長か副団長になるとかはわからないですけど、まあ繋がっていいですね。(先輩がおるから)心強いとは思いますが。入るときにやっぱりきつかけとしては入りやすかったと思います。上にいるっていうのは心強かったです。あとは体育祭に女子競技が少ないんで、せっかくなら体育祭楽しみたいなーと思う気持ちも強かったんやと思います。

後輩へメッセージを！

(植原)しっかり次の体育祭に型を忘れずしっかり継承してほしいなと思います。

(山崎)高校卒業して、応援団っていう機会しか、人前で大声出すっていうのが多分もうないと思うので、全力で自分たちのやりたいように楽しんでほしいです。

(関)全力で声出すことが、恥ずかしいって思う人も多いと思うけど、全力で声出すのはむしろカッコいいことやから、それを忘れんといほしい。

(鳥越)次は一番上に立つ存在やからそれを忘れずに、どんどん引き継いで行ってほしいなって思います。

(井上)まだまだ経験不足なところも多いと思うし、難しいこともたくさんあると思うけど、新しい時代を作っていく気持ちで頑張ってほしいなと思います。

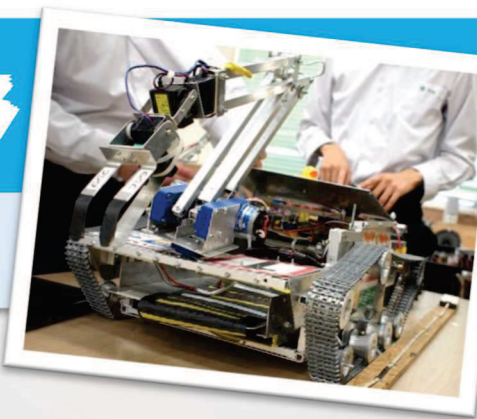
井上さん、関さん、植原さん



鳥越さん、山崎さん

新卒業生インタビューPart.3

モノづくり大好き集団 ⚡ レスキューロボットコンテスト



チーム「都工機械電気」が今年もレスコンに参加しました。惜しくも予選敗退しましたが、その思いは受け継がれています。参加した井上(凜)さん、加藤さん、岩橋さん、谷山さん、植原さん、鈴木さん、忠永さんにお話を聞いてきました。

どんなチーム構成？

—リーダーはいますか？

(植原) はい(手を挙げる)。

(谷山) 一応出場するにあたってそのチーム内で、誰がどういう役割みたいなのを決めないとダメで。

(加藤) 操縦者(オペレーター)とか。操縦者はこの2人(加藤さん・岩橋さん)です。

(鈴木) メカニックは僕です。もし機体が壊れたときにその機体を直したり。思わぬところで荷重がかかったりとかで故障したりするので、できるだけ元の状態に戻したりするのがエンジニアの仕事です。

(井上) 自分がスピーカーで、自分の機体の説明とか、自分たちの救助をするときの目標だったり、チームのPRをパワーポイント使って説明したりします。

(谷山) 僕はプログラムとか通信関係でした。

(忠永) 僕は最初に機体のデザインを軽く。前の世代の機体をモチーフにこういう風にしたらいんちゃうかとか話して、あんまり自分の個性は出さずに先人たちのものを踏襲した感じです。

(植原) 皆それぞれがモノづくりが好きで、暇あったらなんか作ってるんですよ(笑)。ロボットの部品とか、これ作って—とか言ったらすぐ作ってくれて、しかも精度がいいんで、めちゃめちゃ助かりました。

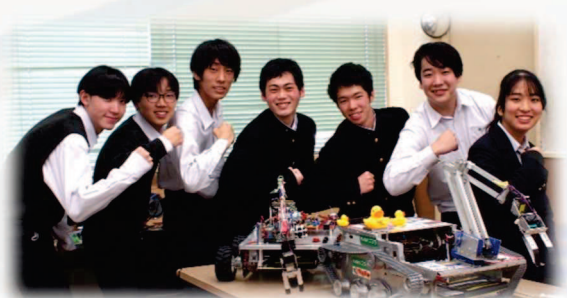
将来にも活かせる？

(井上) ほとんどが進学なんです。

—就職組の加藤さんと鈴木さんにきいてみた

(加藤) 一から図面を起こしてってなると、知識が必要になってくるので、自分で調べるっていうのは、それが将来的に役に立つかはわからないけど、いい経験にはなったのかなと思います。

(鈴木) レスコンやって、乗り越えるのが難しい壁が出てくるじゃないですか。そういうことがあるときって、常に自分たちが挑戦してるってことなので、そういうのに気づけたのはよかったですね。



(左から)
忠永さん
岩橋さん
谷山さん
植原さん
鈴木さん
加藤さん
井上さん

操縦ってどんな感じですか？

(加藤) イメージ的には、プレステのコントローラを使うみたいな感じなんですけど。

(岩橋) ラジコンで遊ぶみたいに車体見ながら操作するんじゃなくて、車体についているカメラの映像だけしかみれないので。

—実際の災害現場だとそういうことですよ。

はい、だからどれくらい(レバーを)前に倒したらどれだけ車体が動いてるのか、を確認するのがすごく難しかったです。

(加藤) 感覚としてはゲームとほとんど同じで、操縦自体は単純なんですけど、機体が一から自分たちで作ったものなので、どうしても片方(のモーター)が回るの遅いとかっていうのがあって、そういう合わせるみたいな練習はしました。

(岩橋) おもちゃとかで売ってるラジコンとかって、ちゃんとこんだけしたらこんだけ動くってなってるんですけど、自分たちで作ったものだから、ちょっと動かすだけで「あ、そこまでいってまうんや」みたいな、微妙な動きが難しかったです。

支援がほしかったところは？

(加藤) 救助に使うものとかって、動かすためのモーターがボロボロのばかりなので、トルクに耐えないものが多かったり。中の配線不良だったり、そういうのも、一回分解してはんだ付けしたり。そうしないと使えるものが限りあって、一個のモーターにしても値段が張るんで何度か使いまわしてやりました。それもそれでいろいろ考えられるんで、いい面もあるんですけど。

(植原) カメラも昔からずっとあるもの使ってるんで、振動が多いと、コードも接続悪かったり・・・。

レスコンは自分を成長させてくれる

(植原) 僕はこの学校にモノづくりっていう面は全然知らずに入ってきたんですよ。でもこのレスコンに巡り合えて、モノづくりにだんだん興味をもつようになって。みんなモノづくりが好きなんで僕も影響受けて、いろいろ作ってみたり考えたりするようになって。自分でいうのもなんだけど、成長したな—って。もちろんメンバーに恵まれたのも良かったと思います。

新卒業生インタビューPart.4



鈴木さん、井上(凜)さん、忠永さん

Red Bull Box Cart Race Osaka 2022

規定に沿って作られた動力を持たない手作りのカートを使って、カーブやジャンプ台が設置された坂道コースを使用し、タイム、カートの創造性、レース前のパフォーマンス、以上3つの基準で競うレースに、都島工業高校のゆかいな仲間たちが参加してきたようです。

出場のきっかけは？

(忠永) 三年生になると課題研究って行って各先生方でテーマがあったりするんですけど、例えばプログラムでゲームを作るとか。僕らの班は、「原動機付のカート」を作るっていうのを目標に研究して制作して発表するのを一年間通してやるんですけど。

(井上) 元々はカートを作りたいって話があって、先生からたまたまレッドブルの(この大会の)話があるよって聞いて、じゃあこのレースに出場しよって繋がっていった感じです。

(忠永) 今回は初大阪開催で、成人から参加できるんですけど、たまたま18歳(成人)になったので出れました。

おバカなレースに大まじめ

結果はどうだった？

(井上) 結果は1~3位しか公表されてないけど。

(忠永) 40チーム中10位前後くらいには入ってたんじゃないかな？

(井上) 自分らは最年少チームだったので、企業だったり大学だったりいるなかですごくいい成績を残せたとは思ってて。パフォーマンスの面だけでいうと最高得点ももらえました。

(忠永) 審査員の10段階評価で、ほとんど満点をもらえて。僕と、鈴木、橋本、近藤が大会出場したメンバーなんですけど、4人で出場して、2名パイロットになれるんですけど。本番前に練習でどうしよどうしよってなってたんだけど、もう思いっきりとにかく楽しもうってやったら点数につながった、みたいな感じです。

どんなパフォーマンスなの？

(井上) ショッピングカートに乗ってみたいっていう子供の夢みたいなものがあるじゃないですか。そのショッピングカートに乗るのを想像したときに、じゃあ泥棒と警察官がいて、泥棒がショッピングカートに乗って逃げていくのを警察官が追いかけるっていうストーリーにしようってことになって。それでパフォーマンスは30秒間なんですけど、BGMに合わせて泥棒たちが騒ぎたてる感じで、いざ逃げるっていう感じで作りました。

(忠永) 一応レース中(坂をくだってる間)は泥棒が警察から逃げるっていう設定ですね。パフォーマンスの中では、警察と泥棒が出くわしてしまっって、一悶着あった後にうまいことカートに乗って逃げるっていうパフォーマンスやったんですよ。

(井上) その30秒っていう短い時間だからこそ難しくて、いかに魅力を見せれるかというか。

危険度も高いレース

—動画見たら結構スピード出てるけど止まれるの？

(忠永) あれはブレーキがついてて、大会前も車検があって、車体の強さとかブレーキのテストとがあって基準を満たさないと出れないので、安全面はしっかりって感じですよ。

—クラッシュしてる人もいましたけど…

(井上) そうですね骨折れる人もいましたね。

(忠永) 大クラッシュするチームもありますね。

チームの総評は？

(鈴木) チーム自体はいろいろあったんですけど、コミュニケーション不足とか。でも結果的にはみんなまとまってくれたり、しっかり一人ひとり考えてくれたり、行動してくれたので、作品もいいものが出来上がったので、まあいい感じで終わったので良かったです。



チーム「ミヤコニック」

新卒業生インタビューPart.5

ジュニアマイスターについて教えてください

(阿川) 校長協会(全国工業高等学校校長協会)さんが主催してるもので、資格のレベルに応じて点数が違ってくる。例えばまあ、中西君がとった電験三種やったら30点だったり、忠永君が持っている電工一種やと20点とか。みんなが知ってるので言ったら計算とか情報3級だったら2点みたいな。そういう風にランク付けされていって、何点やったらブロンズ、何点とったらシルバーとか認定される制度です。まあ色々条件があるんですけど。

どんな資格を取ったんですか？

(阿川) 電気工事施工管理技士をとりました。3年生になってから、試験が確か就職の前あたりだったの。で、だいたい3〜4カ月くらい学校に残って、特に前川先生に助けていた。僕ともう一人(井上耀君)と一緒に受けたんですけど、二人とも一発で合格できました。

(井上) 特別表彰ってとるためにはゴールドと得点は一緒なんですけど、20点以上のものをとってないと特別表彰にはならなくて。消防設備士っていうのを取ったんですけど、結構苦労しました。建物の感知器とか消火器とか消防設備に関するものの設置だったり、工事点検整備

諸々できるようになる管理資格です。ジュニアマイスターの特別表彰取りたいってなったときに先生に教えていただいて、やってみたら20点ってほかの資格と違って、壁がすごかったんですけど、3年生の冬でやっと取れました。受験するたびに毎回完璧やと思っても、毎年出題する問題が新しく変わって、過去問で学習していても新しい問題出てきて「あー無理や！」ってことが多くて難しかったです。

(忠永) 僕は電気工事士一種に受かりました。前川先生が2年生3年生と卒業生の方も交えて勉強会を主催してくれて、ほぼ1年を通して面倒みてくださって。過去問刷っていたりとか、解説してもらったりとか。放課後いっぱい時間使って試験に臨んでました。(先生の協力が)ないとダメですね。なかったらもっと合格者少なかったと思います。

(谷山) 情報配線施工(技能検定)っていうのを取りました。コンセントとかLANケーブルとかの扱いとか、そういうのをどうやって作るのかみたいな問題がでる資格です。検定なんです。それができないです。ってわけじゃないです。

(忠永) パソコンの通信の基礎知識と実技があるんですけど、ちょっとした配線の問題が出たり。



みんな取得している資格はそれぞれ違うんですね

(井上) 自分に興味があるものをみんなそれぞれ取りに行くって感じですね。それを監督してくれるのが前川先生でジュニアマイスターに関するもの全部前川先生が支援して、めちゃくちゃ力入れてくださって。何かしようとしたら「じゃあそれやってみよう」って言ってくれます。(忠永) 何でもチャレンジしたいって言ったらそれに応えてくださりました。

勉強でしんどい時にどうやって乗り越えてきた？

(阿川) 僕自身ジュニアマイスターにかかわらず、資格取得に力を入れ始めたのが、2年生の10月とか後半あたりだったの。で、資格に集中するっていう時間がとても少なくて、スケジュールもハードになって。この月に何個も何個も受けるとか、それこそ

終盤の申請のときにも何個も何個も受けに行ったりとかで、そこが一番しんどかったんです。けどできひんって諦める前に、とらあえずもうやれるだけやってみようって、そういう気持ちでやってました。

(井上) 自分は、周りがかね。一緒に受ける人たちがいて、わからないときに強がったりするんじゃないって、「全然わからへんよな」って、こう話したりしてうちに、しんどいって思ってもやっぱ頑張るって思えてきたりとか。そうしたことはずいぶん強かったと思います。まわりがほんま支えてくれたりとか自分が頑張るって言ってあげられたりとかがすごい成長できたところだと思います。

資格取得のきっかけは？

(井上) 自分は(ジュニアマイスター)取りたいって気持ちがあっただけですけど、一番最初に取った資格が、電気工事士二種なんですけど、1年生では全然取る人がいなくて、自分はやってみたくてなったときに、周りで取りたい人がいて一緒にやってみようって言ってきてくれて自分も受けやすくなったというか。

(忠永) うちの親が資格人間で自営業でやってるんですけど、最初は電気工事士の資格をとって仕事にしていたんですけど、じゃあ

水道やろうかってなって水道工事の資格とったりとか、じゃあ次ガスやろうとか下水やろうとか、消防設備関係いっぱい取ってみたいとか。なんでも「自分ができるようになれば全部できるやんけ」っていうので、そういうところに影響を受けて子供のころから現場に連れてってもらったりして、あーじゃあ僕も資格とってやってみようって、(電気工事士二種)取りますって言って取って。一種もこのままやってみようかっていうのでやったらって感じなんです。だからきっかけは両親ですね。

(谷山) 基本的に学校で受けるやつと、僕は人がいたら絡みたくなる性格なんです。教室の灯りついてるのを見て「何やってんの？」って入っていくタイプです。その時にこれ受けんねんって教えてもらって、「ええなにそれ?」なんか楽しそうやな」って思ったら受けました。



ジュニアマイスター表彰者

みんなのオススメ資格は？

(井上) 点数だけで言ったら情報配線施工は点数もよくてそこそ取りやすい資格ではありません。自分は取ってないですけど、電工一種はすごい仕事でも使えるし、今後にもつながると思います。

(阿川) 検査とかやったら、勉強するっていうよりも手を動かして覚えて、タイム内に規定の場所測って規定の誤差内で抑えてっていう風にやっていると資格なんです、その精度上がっていきって製造業とか務めていく上やったら絶対いると思うし、学校でもやる環境がすごく整っているの、なんなら全員取ってほしいくらい資格です。

(井上) それはほんまに思います。学校っていう存在はすごくでかくて、資格を取るってなったときに、工具を揃える、材料を揃えるってなったときに、自分ひとりやお金がかかるので、資格を取った時に見合わなかったりとかあると思う。やっぱり学校が支えてくれる分、取りやすい面は大きくて、さっき近藤君が言ってた旋盤とかの資格は、もし取れなかったとしても、その勉強する時に手を動かして覚えてるんで、ちょっとでも旋盤の力が身につくと就職にも役立つと思います。

(谷山) 実際に彼が話してたんですけど、そのおかげで就職先で旋盤の大会に出るための補助とか色々してくれるっていうので実際に立ったたりもした。今の学校の旋盤も新しいわけではないですけど。

古い旋盤は使えない？

(井上) 最近は手動の旋盤はもう全然つかわれてなくて、コンピューターが入っている CNC とかが主流で使われてるんで。

(忠永) 多軸・五軸とか、一度工場の人と話したんですけど、軸が多いと色々考えないとなんですけど、旋盤は XY 軸だけなんです、精度を出すのは旋盤のほうの方が簡単やって言っていました。だから旋盤もよく使っていて。結局仕事で使うんだって、基礎っていう意味では良かったのかなって思います。

<特別表彰>

阿川 昌弘、井上 凜音、中西 信貴

<ゴールド>

小野瀬 理喜、忠永 青、栩野 司

<シルバー>

井上 耀太、甲田 泰大、谷山 流伽、四丸 靖敦、鈴木 琉人

中西君が来ないので、中西君について教えてください

(井上) あいつはすごいです。6時ギリギリまで残って、ひたすら過去問解いてたって聞いて。隣の部屋がずっと電気灯りがついてて開けたら絶対中西がいるっていう。

(阿川) しかも中西君が先生として後輩に教えるとかしてた。やっぱりこの学校で一番いいのって、先輩と後輩の上下の関係やと思って、応援団もそうですけど、先輩が後輩に教えてあげれるっていう。誰かに教えることで、自分も知識深くなってお互いにとってプラスになるんでそういう環境づくりがこれからもあったらうれしいなって思います。

(忠永) 中西は長期休み、夏季休暇も学校来てたとか聞きました。

(井上) 中西は部活が一緒に、自動車研究同好会で、エネワソっていうレースが夏休みにあるんです。一泊二日で前泊して、レースがあつて帰ってくるんですけど。行きのバスでも、泊ってる部屋の中でも、レースの合間も、暇な時間あればあいつ参考書開いて勉強してて。体育祭！そうそう体育祭のときも！(笑)

(谷山) 体育祭の時って、待ってる間、ひな壇みたいな場所(スタンド)で座って待ってるんですけど。僕が一番前の席座って、(振り返ると)その後ろに中西とあと細川が二人で赤本とか参考書開いて勉強してるっていう。

(井上) 体育祭参加してもいいんだけど、そこでもなお勉強するっていうか(笑)

(忠永) 文化祭も空いてる教室借りてずっと勉強してましたね。

(井上) 中西は何か絶対本を持ってるとすよ。帰りの電車でも絶対何か開いてます。

(忠永) 隙さえあれば参考書開いてて。授業中でも結構も資格のことが頭にあるみたいで：

(井上) 「自習」ってなった瞬間にバツて(参考書を開く動き)。

— 理系大学に進学の話題になり

(谷山) 彼はすごい理系特化の人。

(井上) さすがに工業の勉強だけじゃ足りなかつたはずなのにそこを自分で補って頑張ってるすごいと思います。すごい努力家で成績もいいし。

(忠永) あと、テストの答案を作りました。鈴木先生が試みに解いてくれて。

この正解合ってるか見てくれみたいな。先生からも頼りにされるくらい、そのレベル。

(阿川) 電験受かってるってのがやっぱりすごい。機電初っていうのが。

(谷山) 電気科でもそんなに居ないのに。今年都工が全国で一番(電験)合格者が出た高校になったのも。

(井上) 一人やっぱりそういう人がいると繋げていけるんで、次がどんどん繋げてくれるら広がって。

(阿川) 来年は打倒電気電子(笑)

(井上) 機電もしっかり力を入れていきたいですね。

(忠永) 今年の入学説明会も電験三種って書いてますしね。

(谷山) 俺たちもネタレベルで電験受けるとか話してたくらいやのに。

— 結局中西君は現れず

(井上) 中西はもうワイプで入れるしかないな…。



中西さん

(写真左から) 谷山さん、井上(凜)さん、阿川さん、忠永さん

中西さんから感想文をいただきました。

電験三種合格から得たもの

私は小さい頃から電気について興味を持っており自ら得た知識を環境問題と結びつけそれらの問題を解決するような新技術の開発に携わりたいと考えていました。そこで電気について知識を深めようと、難関国家資格である電験の資格取得に挑戦しました。

合格率は8.3%。最初に理論科目を1か月勉強し過去問を解いたのですが、全く点数が取れず悔しい思いをしました。私は勉強方法を改善し、過去問対策としては解答を覚えるのではなく解法や公式の導出の仕方を覚えることに集中しました。疑問点についてもYouTubeの解説動画を活用しながらできるだけ自力で解決し、その後ひたすら問題演習をするというサイクルを単元毎に繰り返しました。さらに理解したことを同じく電験取得をめざす後輩たちに教え、アウトプットすることで理解を深め、電験三種に合格できました。計1000時間は勉強したと思います。

これから電験を受験する皆さんにアドバイスを残します。数学が不得意でも電気が好きであれば時間があるかぎり毎日努力し続けること。たとえ電気が嫌いでも勉強することでそのおもしろさに気づけるからです。周りの人に無理だと言われても、それを見返してやる気持ちも大事です。この4月から、長岡技術科学大学に進学しパワーエレクトロニクスについて研究します。電験三種への合格は、今後の私の研究への意欲と自信につながり大きな意義を持ったと考えています。

機械電気科 中西 信貴



みなさんありがとうございました。

令和 4 年度 会務・総務報告

会務報告

2022 年	
7 月 10 日	第 1 回 役員会 於 浪速工業会館
	8 名出席 ・萌芽会総会・懇親会準備と役割分担決定
8 月 20 日	第 2 回 役員会 於 浪速工業会館
	7 名出席 ・萌芽会総会 反省と今後の活動計画
	・在校生支援案纏め
12 月 3 日	第 3 回 役員会 於 浪速工業会館
	7 名出席 ・会費納入状況の確認と催促状の送付
	・卒業生への記念品確認
	・ジュニア-マイスター賞の記念品確認

総務報告

2022 年	
5 月上旬	浪速工業会報 (149 号)
	萌芽会報 (37 号) 発送
7 月 23 日	萌芽会総会・懇親会開催
	KKR ホテル大阪 3 階銀河の間 41 名出席
9 月 23 日	南丹市三輪車レース大会
	参加費補助
10 月 11 日	体育祭コロナで未開催 3 年分の食券を 合計 320 枚を配布
11 月上旬	第二種電気工事士テキスト 35 冊贈呈
12 月 3 日	催促状 104 件を発送
	13 名の方が萌芽会費納入

2023 年	
2 月 28 日	卒業式予行
	卒業生 49 名に卒業記念品 (T シャツ) を ジュニア-マイスター賞の表彰
	特別賞 3 名、ゴールド 3 名、シルバー 5 名
	新年度会報取材活動



令和 4 年度 萌芽会総会

今でこそ落ち着いてきた新型コロナウイルスが、まだその猛威を感じさせていた頃ではありましたが、ワクチンの効果なのか、感染者数が減ったことでようやく来賓の方を招いて、盛大に総会を開くことができました。多くの来賓の方を迎えて始まった総会は、いつものように活動の報告をして、運営の状態を全員で確認しました。その間、会場の外では懇親会のために新卒生の方々が続々と集まり始めており、数ヶ月ぶりに会った友人たちと楽しそうに話をしていました。総会が終わると、懇親会が始まりました。コロナがその猛威を振った全盛期には、いつになればできるのだろうと不安に思われていたような交流が、ある程度の節度はあれど、実現されました。

なかなか会うことのできない方々が集まり、交流し、新卒生という新たな仲間を迎え入れる光景に、コロナ収束の希望を垣間見た気がします。その実現のため、運営の方々は数多くの打ち合わせを行い、様々なことを考慮してくださったのだと思います。ありがとうございました。運営、来賓の方々、その他会員の方々のご協力に深く感謝しております。

平成 24 年卒 佐和 尚紀 記



令和 4 年 7 月 23 日(土)
KKR ホテル大阪にて撮影

令和 4 年度 萌芽会会費納入者ご芳名

S37 平田 克彦	S44 中野 晴夫	S47 三木 猛	S63 藤原 清隆	H16 山崎 大輔	H31 近藤 航大
S37 中科 武弘	S44 殿川 藤雄	S47 小西 康信	H02 花木 幸一	H17 左近 敦士	H31 遠 浩平
S38 中泉 敏幸	S44 日野 節夫	S47 田中 武一	H03 川口 彰	H18 青山 弘毅	H31 今城 真輝人
S38 無量井 俊	S44 朝波 信治	S53 船越 正二	H03 山崎 仁	H19 富田 卓司	R03 羽口 夢向
S38 馬淵 敏治	S44 谷 泰明	S54 松山 利夫	H03 松村 和義	H20 中嶋 幸平	R04 高垣 陽樹
S39 原 光信	S44 岩崎 正造	S56 宮本 忠明	H03 青山 一成	H20 山本 英男	R04 田中 善晃
S39 今田 繁雄	S45 友田 正直	S56 川畑 一利	H05 青山 司	H21 佐和 称範	
S40 野口 吉弘	S46 橋本 聖史	S57 吉川 雅人	H05 志村 剛宏	H21 大西 翼	今年度新卒生
S41 山岡 元修	S46 中尾 弘昭	S57 佐々木 敬三	H05 山下 洋	H24 長江 子竜	R05 阿川 昌弘
S41 松岡 修次	S46 斉藤 正明	S57 塩見 安弘	H08 安藤 丈晴	H24 稲葉 康太	R05 井上 耀太
S41 岩地 馨	S46 木村 信二	S58 鈴木 真二	H09 國和 延行	H24 片岡 光留	R05 植原 馨
S41 下久保 和彦	S46 小野 隆	S59 船越 秀明	H09 磯村 和也	H24 佐和 尚紀	R05 小口 倅大
S41 松井 道夫	S46 中村 弘	S59 新熊 輝久	H10 青山 了	H27 福井 康太	R05 忠永 青
S42 木村 豊	S47 奥谷 悟	S60 豊留 保弘	H10 小西 伸哉	H27 浅田 成美	R05 松本 光虹
S43 織部 真佐美	S47 小川 剛	S61 志水 秀一	H14 川越 禎仙	H28 中山 真実	R05 山本 優芽
S43 高橋 良司	S47 奥須賀 雄二	S61 矢倉 浩	H16 麻田 裕希	H30 恩村 城伊	R05 四丸 靖敦
S43 安養寺 哲夫	S47 喜多 康之	S61 早崎 和広	H16 野神 敬志	H30 道端 涼	R05 鈴木 琉人
S43 池田 努	S47 竹田 裕信	S63 一柳 勝	H16 岡崎 彰	H31 村上 昌史	
S44 奥井 徹	S47 畠山 重輝	S63 和田 功実	H16 角野 義朗	H31 小川 礼智	

令和 5 年 3 月 31 日現在（敬称略）

本年度は **101 名** の納入者がありました、有り難うございます。
また、令和 5 年度卒業生 **9 名** の納入を頂きました。

より多くの支援を行うため、より多くの会費納入にご協力をお願いします。

※2022 年 1 月 17 日より、ゆうちょ銀行の「払込取扱票」による払込みを行なう場合、窓口でも ATM でも 110 円の手数料がかかります。郵貯口座をお持ち方は通帳、キャッシュカードで口座から払込む場合は手数料は無料で、受取人負担の 152 円も無料になります。

我楽多会ミニ同窓会

2016 年の都工卒業 50 周年後の同窓会以来 7 年ぶりの開催になりました。その間にも 2020 年 3 月に同窓会をやると言うことで、案内状を出し、集まることになっていたのですが、コロナが一気に広がり、中止することになりました。それから 3 年間コロナ禍で開催できていませんでした。今回は東京から杉田さんが大阪に来ると言うことで、コロナも収束近く岩地幹事が連絡が付きそうな人に電話等で誘い、2 月 22 日（水曜日）5 人が都工近くのロイヤルホストでお昼に会いました。

7 年の間に同窓会常連メンバー 4 人が他界しました。（黙祷）参加者は岩地馨、山岡元修、杉田憲弘、松井道夫、松岡修次が参加しました。懐かしい思い出話と後期高齢者になったことで病気、健康の話題で盛り上がりました。コロナ開けには、ミニではなく普通の同窓会をやろうと言うことで別れました。

昭和 41 年卒 松岡修次 記
（写真は左から、杉田、松井、岩地、山岡、松岡）



令和 4 年度収支決算報告・令和 5 年度収支予算(案)

2022年度収支会計決算報告：自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月 31日

2023年度収支予算(案)：自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月 31日

萌芽会 会計部

収入の部				支出の部			
勘定科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	2023年度 予算額	勘定科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	2023年度 予算額
前年度繰越金	674,412	674,412	567,385	萌芽会会報発行費	40,000	37,890	40,000
萌芽会総会収入	320,000	260,000	320,000	部会費振込用紙印刷費	5,000	0	5,000
浪速工業会会費還元金	90,000	81,000	90,000	萌芽会総会会場費	300,000	273,535	350,000
浪速工業会会報広告還元金	5,000	3,000	5,000	浪速工業会事業参加費	0	0	0
浪速工業会個人・賛助会員還元金	15,000	18,000	15,000	他部会事業参加費	45,000	27,000	50,000
卒業生会員入会金	60,000	49,000	60,000	卒業生記念品代	80,000	75,000	80,000
萌芽会部会費振込料差引	220,000	205,142	220,000	事務費	20,000	6,501	20,000
寄付利子その他	0	3	0	通信費	25,000	1,186	10,000
				会議費	90,000	63,550	90,000
				交通費	5,000	6,000	10,000
				慶弔費	10,000		10,000
				在校生 支援費	126,000	167,104	141,000
				若手の会活動費	30,000	18,926	30,000
				予備費	50,000	46,480	80,000
				次年度繰越金	558,412	567,385	361,385
合計	1,384,412	1,290,557	1,277,385	合計	1,384,412	1,290,557	1,277,385

浪速工業会・萌芽会役員一覧

浪速工業会役員

理事	木村 豊	S.42
理事	高橋 良司	S.43
理事	麻田 裕希	H.16
理事	石橋 良一	H.20
代議員	馬淵 敏治	S.38
代議員	木村 豊	S.42
代議員	高橋 良司	S.43
代議員	谷 泰明	S.44
代議員	殿川 藤雄	S.44
代議員	松下 靖	S.47
代議員	小川 剛	S.47
代議員	麻田 裕希	H.16
代議員	岡崎 彰	H.16
代議員	石橋 良一	H.20
代議員	桑原 達雄	H.25
代議員	藤原 寿将	H.30
監事	松岡 修次	S.41
奨学金委員	岩地 馨	S.41

萌芽会役員

会長	高橋 良司	S.43
副会長	麻田 裕希	H.16
副会長	岡崎 彰	H.16
幹事	小川 剛	S.47
幹事	井原 應敬	H.16
幹事	石橋 良一	H.20
幹事	佐和 尚紀	H.24
幹事	稲葉 康太	H.24
幹事	片岡 光留	H.24
幹事	桑原 達雄	H.25
幹事	藤原 寿将	H.30
常任顧問	高橋 数隆	S.39
常任顧問	岩地 馨	S.41
顧問	中科 武弘	S.37
顧問	馬淵 敏治	S.38
顧問	木村 豊	S.42
顧問	谷 泰明	S.44
会計部長	松岡 修次	S.41
会計監査役	殿川 藤雄	S.44

第47回

萌芽会総会&懇親会

令和5年 7月29日 (土)

受付開始 16:00~ 総会開始 16:30~ 懇親会 17:00~

会場 KKRホテル大阪(銀河の間)



おかざき みきちゃん

新卒生、会員のみなさん
総会・懇親会で
お会いしましょうー！



大阪市中央区馬場町2-24

Tel 06-6941-1122

KKR HOTEL OSAKA

<会費>

H22 年以前卒の方	¥8,000
H23~H30 年卒の方	¥5,000
H31~R5 年卒の方	¥2,000
女性会員の方	¥2,000
※S48 卒の方はご招待	

<申込方法>

以下の方法で、出欠を受け付けております。

- ① ハガキ：同封の専用返信ハガキ
- ② メール：houga@naniwa.or.jp
- ③ ウェブ：専用申込ページ(右のQRコードから)

<https://www.naniwa.or.jp/hougakai/soukai/>



Special Thanks

〒540-0023 大阪市中央区北新町2番8号
TDビル6階
電話 06(6910)2562 ファックス 06(6910)2564

株式会社 A office Nakano

代表取締役 中野晴夫
(昭和44年機電卒)

UNIX コミュニティ株式会社

しん くま
取締役 新熊輝久(昭59機電卒)

〒573-0137 大阪府枚方市春日北町2丁目37-1
TEL 072-897-3335
FAX 072-896-1131
URL : <http://www.umix.co.jp>

機械式駐車装置 再生塗装工事

株式会社 オービス和泉

代表取締役 殿川藤雄 (昭44機電卒)

〒590-0813 大阪府堺市堺区神石市之町1番6号
TEL 072-268-4601 FAX 072-268-4603
E-mail : auvisuzumi@kmd.biglobe.ne.jp
建設業登録：大阪府知事許可(般-26)第132327号

以下のようなことにご関心・ご興味がある方、一緒に萌芽会の運営を行いませんか😊

イベント企画、ホームページ制作・運用、SNS・WEBプロモーション、アプリ開発、イラストレーター・DTPデザイン全般、カメラ・写真動画撮影編集、システム構築・ネットワーク・サーバー、AI・ChatGPT、PCソフトハード、簿記・会計、ゲーム全般等、学校や会社にはない経験や仲間作りが出来ますよ♪未経験大歓迎!

公式LINEアカウントができました!友達登録よろしくお願ひします♪

